

# ひまわり

## 【学校教育目標】

ひまわりのように咲く子どもを育てる  
創る（ひまわり5）

令和5年度 大道小学校  
第7号 10月30日  
文責 荒平 真寿美

## 10月「人との関わりの中で生きる」が目標です

2学期は、自分に自信を持った子どもに育てたいと思い、「自分に自信を持つ」が目標です。それを受けて9月は「自分のことを好きになる」としました。そして、10月の目標は「人との関わりの中で生きる」を目標にしました。人との関わりなくしては、人は生きていけません。良好な人間関係を築いていくためには、人との関わりの中で生きていくことができるように、子ども達を育てていくことが大切です。小学生は、まず、友達と仲良く遊ぶことができることからスタートです。10月は、5年生は集団宿泊教室に、6年生は修学旅行に行きますので、この目標がぴったりだと思いました。友達と一緒に体験する楽しさを、十分に感じて欲しいと思います。



10月のきりりさんは、2年生のある男の子を紹介したいと思います。下校の時、学校正門前の横断歩道を集団で渡すことには、いつも気を配っています。人数が多いので地区ごとに分けて渡すのですが、それでも渡り終えた後、歩道に上がり切れな時があります。しっかり、意識していないと、信号が点滅し、危険です。いつも、学童組を渡すときが心配です。すると、その日は2年生の男の子が、渡り終えるように、1年生に目配りしながら声かけをしていました。凄いなあとと思います。こうして、人との関わりの中で子ども達は大きく成長していくのだと、その姿を見てまた改めて思いました。成長がうれしい10月でした。

## 5年生、集団宿泊教室に行ってきました

10月5日（木）、6日（金）、5年生が集団宿泊教室に菊池少年自然の家に行きました。出発式では「自然」「協力」「絆」の3つについて話をしました。私は、2日目のお昼から児童の様子を見に行っただのですが、丁度掃除中で、無言でもくもくと頑張る姿が見られました。所員の先生方からは、「挨拶もよく、一生懸命取り組む姿があり、2日間気持ちよく一緒に時間を過ごすことができました。」とたくさんお褒めの言葉を頂きました。初めての宿泊、しかも、自然の中での、いろいろと緊張することも多かった2日間だったでしょうが、大きく成長した5年生でした。早速、学校に戻ると、「身に付けた力は？」「それを、学校のどこにいかしていくのか？」という話し合いが行われていました。あと半年で、大道小学校を背負っていく6年生に進級する子ども達です。これからの成長が、更に楽しみになりました。

## 6年生、修学旅行に行ってきました

10月18日（水）、19日（木）、6年生は長崎に修学旅行に行ってきました。出発式では「学び」「絆」「感謝」の3つについて話をしました。一番の学習は、平和学習です。到着すると、早速、城山小学校へ。毎年お世話になっている「八木道子先生」のお話を聞きました。八木先生は、まだ幼い頃、長崎で被爆されました。私は、いつもお話される「11時2分に長崎に原子爆弾が落とされた。その後には、何も音が聞こえなくなった。全ての生きるものの命を奪い尽くした。」というこの言葉が、いつも心に突き刺さります。命を奪い去り、家族を引き離してしまう戦争。「黒こげとなった少年」「赤い背中の少年」「焼き場に立つ少年」と、写真を見せながら、「平和のバトンをつないで欲しい」という思いを、力を込めてお話をしました。八木先生は、この城山小学校で校長先生を務められた方です。戦後78年になりますが、ずっと平和への思いを伝え続けておられます。その後も、平和集会、長崎平和ガイドさん案内による平和学習を行い、1日目を終えました。平和ガイドさんからは、「本当に真剣に話を聞いてくれて、気持ちよく説明ができた。これからも頑張らなんよ。」とたくさんお褒めの言葉を頂きました。夜景の美しさも忘れられません。

さて2日目のメインは、班別行動です。自分たちで計画したとおり、歩いて、市電を乗り継いで、グラバー園を目指しました。全班、時間通り戻って来て、ほっとしました。自分たちで班別行動ができることに、驚きです。よく頑張りました。帰りのバスでは、「帰りたくない。もう一回修学旅行に行きましょう。」とお願いする子ども達でした。これまで修学旅行に連れて行った6年生は、学校が見えるとほっとした表情になる子ども達ばかりでしたが、今回初めて「帰りたくない」と子ども達が言ったので、びっくりした次第です。いかに、この修学旅行が楽しかったのかその一言を聞いただけで分かりました。バスガイドさんからも「大道の子ども達は、本当にかわいかあ。」とこれまたたくさんお褒めの言葉を頂きました。よく頑張った子ども達に大きな拍手を送ります。保護者の皆様、送迎等大変お世話になりました。

